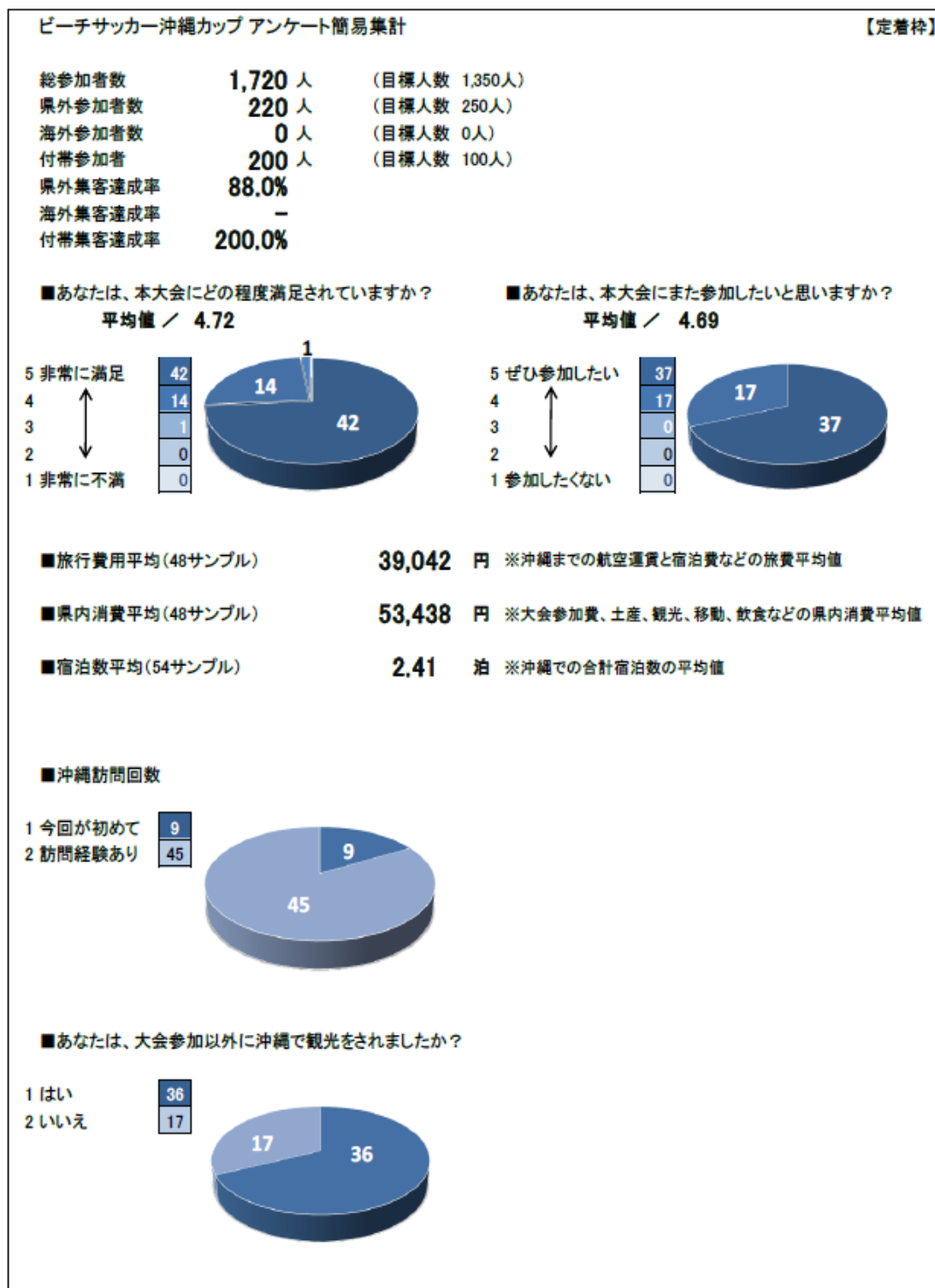


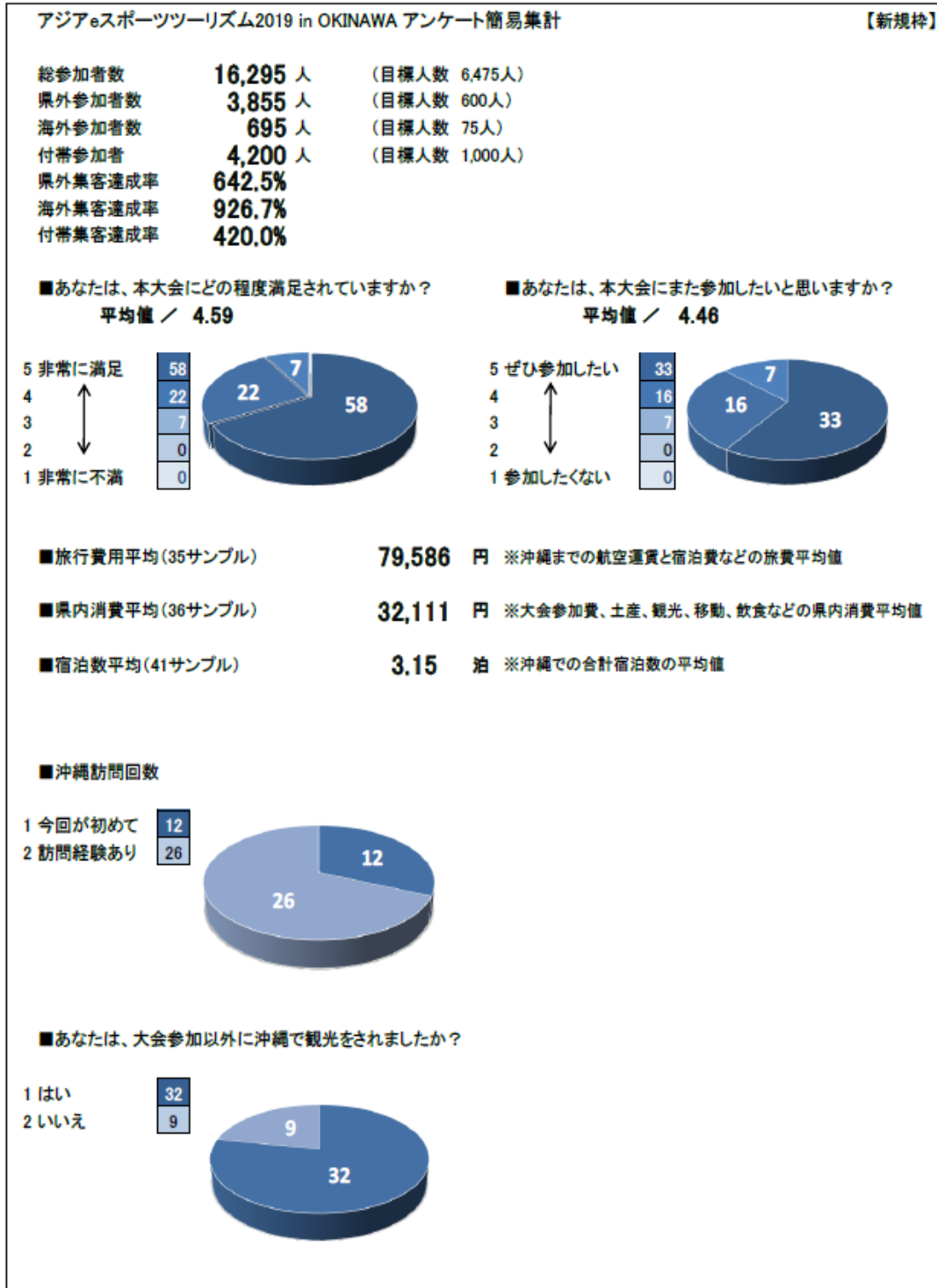
(2) 各モデル事業調査結果

＜採択事業簡易調査結果＞ ビーチサッカー沖縄カップ イベント事業

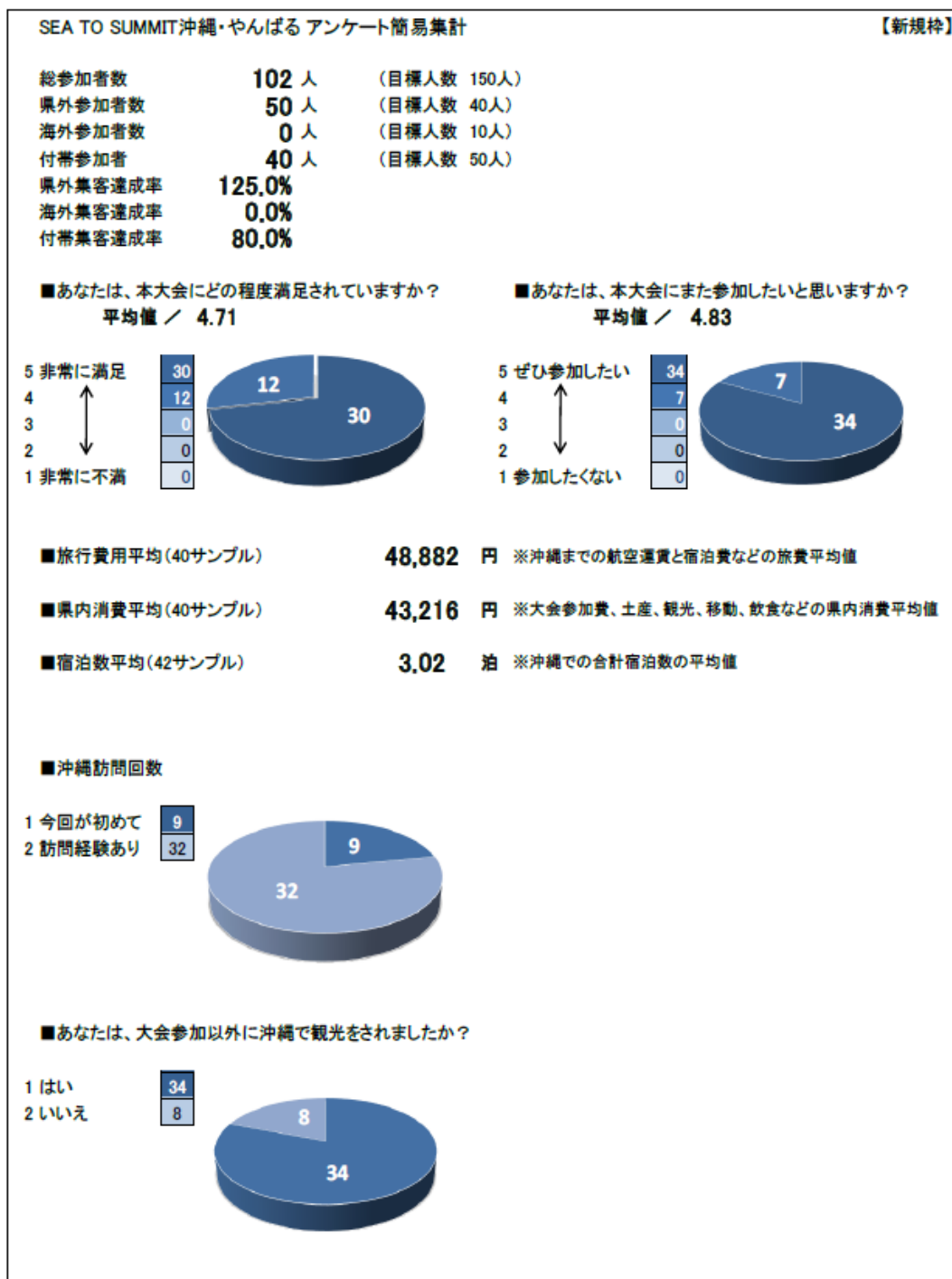


＜採択事業簡易調査結果＞

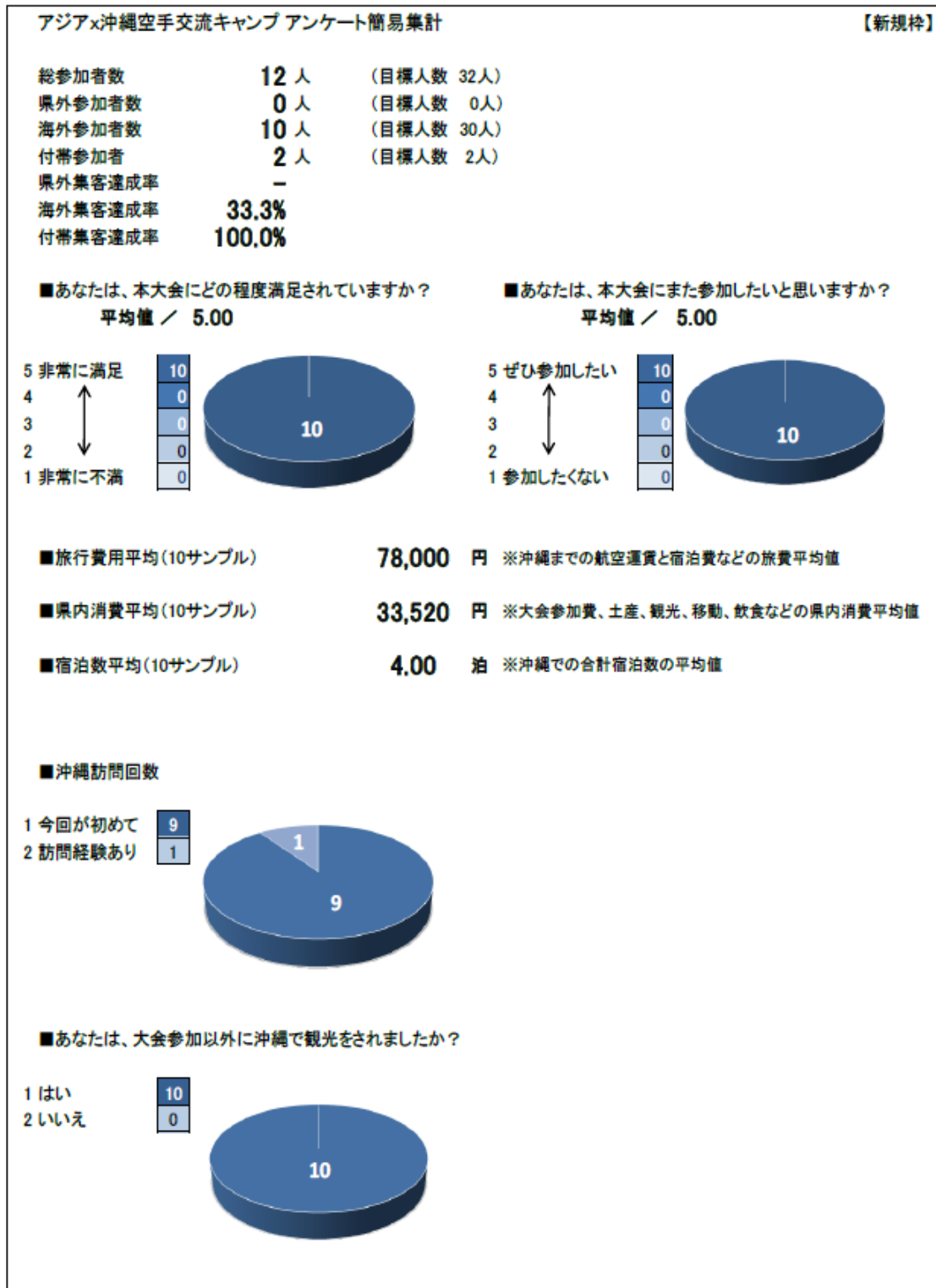
アジアeスポーツツーリズム2019 in OKINAWA アンケート簡易集計



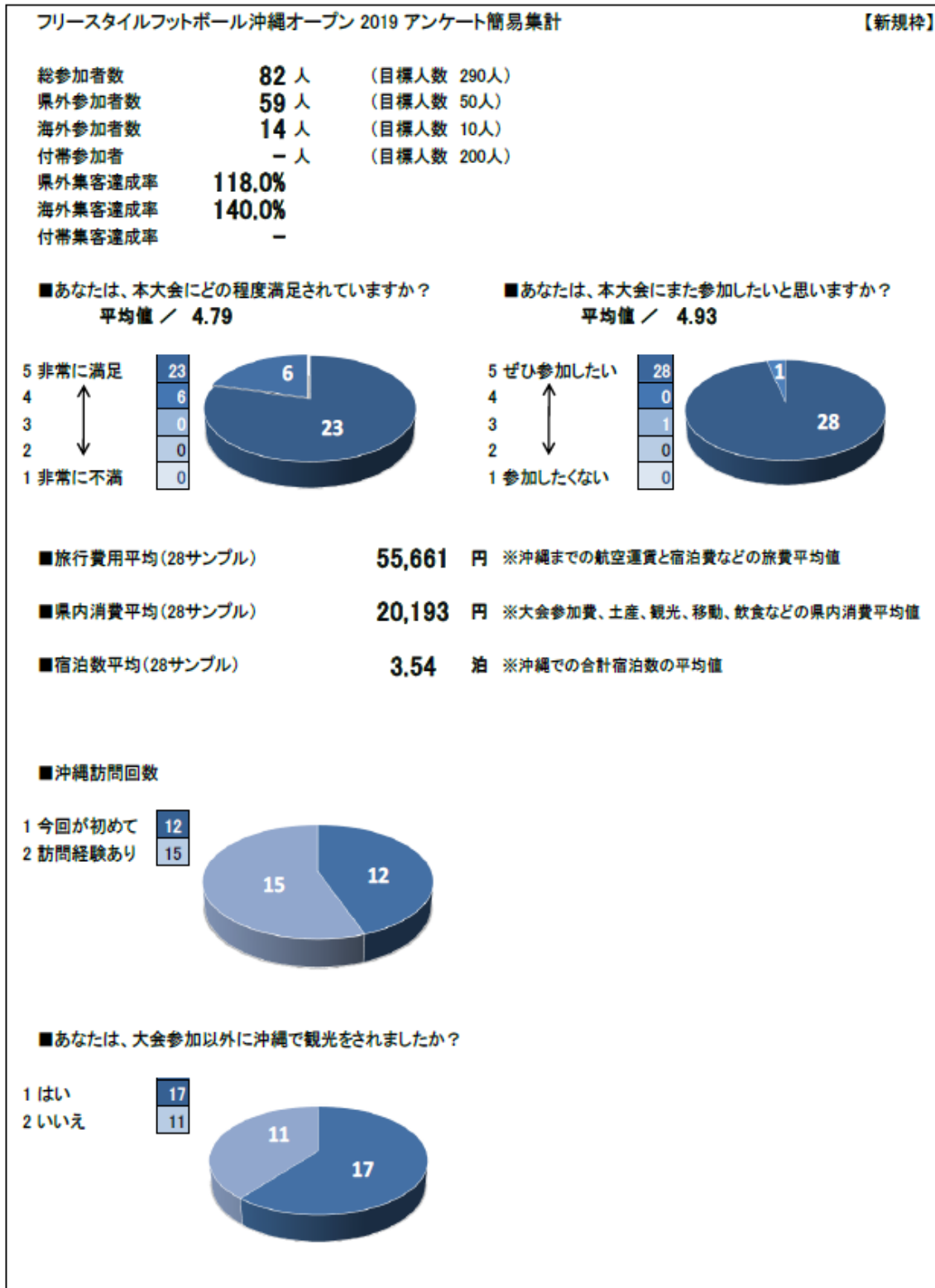
＜採択事業簡易調査結果＞
SEA TO SUMMIT 沖縄・やんばる



＜採択事業簡易調査結果＞
アジア×沖縄空手交流キャンプ



＜採択事業簡易調査結果＞
フリースタイルフットボール沖縄オープン 2019



6. スポーツツーリズム普及啓発のためのセミナー等の開催

(1) 採択事業者共有会の開催 ※書面開催

各委員から、それぞれのスポーツイベントに対する総評を頂き、各事業者へイベントの成功要因や課題間の共有を行うことで、1年間の取り組みの振り返りを行った。取組内容や実施結果に対する具体的な指摘による現状認識が可能となり、次年度以降の自走化に向け参考となる情報を事業者に対して共有することができた。

7. 採択モデル事業ダイジェスト

(1) 採択事業者 実績一覧

事業名	団体名	開催時期 場所	種目	総事業費 (税込)	補助希望額	交付申請時						事業結果					
						集客目標 (全体)	集客目標 (県内)	集客目標 (県外)	集客目標 (海外)	集客目標 (付帯)	集客実績 (全体)	集客実績 (県内)	集客実績 (県外)	集客実績 (海外)	集客実績 (付帯)	県外集客 達成率	海外集客 達成率
1 Asia × OKINAWA空手交 流キャンプ	事業者E	2/20-2/24 空手会館他	空手	4,971,090	3,020,000	32名	0名	0名	30名	2名	10名	0名	10名	2名	0.0%	33.3%	
2 フリースタイルフット ボール沖縄オープン2019	事業者D	11/23-11/24 イオンモールライカ ム	フリースタイ ルフットボ ール	9,629,406	4,625,000	290名	30名	50名	10名	200名	82名	9名	59名	14名	118.0%	140.0%	
3 SEA TO SUMMIT沖縄・ やんばる	事業者B	12/14-12/15 北部(名護市)	カヌー ハイク ハイク	8,036,848	5,017,547	150名	50名	40名	10名	50名	102名	12名	50名	40名	125.0%	0.0%	
4 アジアeスポーツツウリス △2019in OKINAWA	事業者A	11/9-11/10 名護市 1/11-1/13 豊見城市 2/1 宮古島市	eスポーツ	7,771,992	4,800,000	6,475名	4,800名	600名	75名	1,000名	16,295名	7,545名	3,855名	695名	642.5%	926.7%	
5 「ビーチサッカー沖縄 カップ」イベント事業	事業者C	12/14-12/15 西原さくらセンター	ビーチサ ッカー	8,912,124	4,235,337	1,350名	1,000名	250名	0名	100名	1,720名	1,300名	220名	0名	88.0%	-	

新規事業支援枠

定額化枠

「ビーチサッカー沖縄カップ」イベント事業

実施報告書（概要版）

令和2年1月31日 事業者C

■事業実施概要

【実施目的】現在、全国に200から300あるビーチサッカーチームは、練習のできない冬期に沖縄を訪れて練習や大会をやりたいというニーズが強く、沖縄の子供達の大会と合わせて、ビーチサッカーシーズンを締めくくる全国規模の大会を行い、沖縄の持つ自然環境を存分に生かした、スポーツツーリズム、そして観光への貢献を行う。

【実施内容】

・主催 事業者C

・後援 沖縄県、西原町、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

・実施日程 令和元年12月14日（土）開会式9：00～、予選ラウンド9：30～17：00
12月15日（日）順位決定戦9：00～15：00、閉会式15：15～

・実施内容 合計52チーム（トップカテゴリ12チーム、U8カテゴリ8チーム、U10カテゴリ16チーム、U12カテゴリ16チーム）のカテゴリ別の予選ラウンド、順位決定戦、芸人エキシビジョンマッチ、ジュニア向け抽選会。

・集客人数（開催2日間延べ数字）

	県内	県外（国内）	県外（海外）	付帯参加	合計
目標（提案時）	1000名	250名	0名	100名	1350名
（昨年実績）	900名	130名	0名	150名	1180名
本年実績	1300名	220名	0名	200名	1720名

・集客人数増減理由

（増）昨年より県内、県外の参加チームが大幅に増えたこと

（県内34チーム→43チーム、県外6チーム→9チーム）

（増）2日間に渡って夏のような天候に恵まれ、ジュニアの応援父兄等が増えたこと

実施報告



■ 事業実施結果

昨年と比較して県内県外ともに参加チームが増え（県内 34 チーム→43 チーム、県外 6 チーム→9 チーム）合計 52 チームの参加となりました。また 2 日間ともに 1 日中の晴天に恵まれ、2 日間のべの参加者が合計 1700 名を超えました。県内でも大型のスポーツ大会に成長し、イベントは主に集客面で成功を収めることができました。

また、サッカー経験の芸人とビーチサッカー日本代表チームとのエキシビジョンマッチを実施。芸人が司会を務めた子供向け抽選会など、参加者が試合以外に楽しめるコンテンツ面の充実を図りました。ビーチサッカーに触れてみる、観戦してみる、楽しむと参加者と試合参加だけではない複数の接点を作り、参加者の満足度も高く非常に盛況となりました。

その他にも日本人の JFA 国際審判 2 名や、日本ビーチサッカー連盟の会長をはじめ役員等、日本のビーチサッカー界を支えている主要なメンバーが数多く来沖し、内地ではありえない 12 月の沖縄の自然環境やピッチの完成度に興味関心を持って頂き、沖縄をビーチサッカーの聖地化する取り組みに関して抜群のアピールができました。

■ 事業総括（課題と今後の展望）

今年度を踏まえて来年以降の取り組みとしては、

- ・参加チームを順調に増やしていく予定ではありますが、会場のキャパシティや駐車場の問題があり、あまりにも増えすぎた場合、路上駐車の問題や運営上のトラブルになりかねないので、どれくらいまで参加チーム、参加人数を増やすことができるか来年に向けて検証していきたいと考えています。

- ・また、順調に行っても残り 1 年の継続枠となることを踏まえ、自走化に向けて、スポンサーセールスや大会実施経費の見直し、内製化、県南部・東海岸自治体との新しい取り組みなどを推進していきます。

アジア e スポーツツーリズム 2019 in OKINAWA

実施報告書（概要版）

令和2年2月12日 事業者 A

■ 事業実施概要

【実施目的】

沖縄県は寒暖の少ない気候であり、沖縄本島を含む39の離島から成り立つエリアである。

沖縄県はアジアと日本国内を結び、ハブ的な役割を担うと共に、沖縄エリアでいろいろな事業形成が見込まれる。沖縄県においては、昨年度の外国人入域数が200万人を超えインバウンド顧客が増加する傾向にある。近年、インバウンド顧客の消費傾向として、「物から事へ」の消費への動向となりつつある。又、インバウンド顧客も団体顧客から FIT（個人顧客）とシフトしつつあり、よりニーズにあったインバウンド顧客の事業コンテンツが求められている。そこで、近年、全世界的に注目を浴びる e スポーツを本事業として3つの事業目的を持って取り組みます。

事業者 A 理念

- ・沖縄県内の e スポーツの啓蒙、啓発、普及活動
- ・沖縄県内の e スポーツの人材発掘と育成
- ・e スポーツを通して沖縄県内の経済効果の寄与と新産業構造の確立

【実施内容】

・主催：事業者 A

・共催

- (1) ツール・ド・おきなわ大会 ⇒ NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会
- (2) アウトレットモールあしびなー大会 ⇒ 沖縄アウトレットモール あしびなー
- (3) 宮古島市 JTA ドーム大会 ⇒ 宮古島市

・実施日程

- (1) 名護市 ツール・ド・おきなわ大会 ⇒ 2019年11月8日～10日
- (2) 豊見城市 アウトレットモールあしびなー大会 ⇒ 2020年1月11日～13日
- (3) 宮古島市 宮古島市 JTA ドーム大会 ⇒ 2020年2月1日

・実施内容

- (1) 名護市：アジア e スポーツツーリズム 2019 in OKINAWA
ZWIFT レース with ツール・ド・おきなわ
【実施タイトル】
ZWFT、Gran Turismo、ぶよぶよ、ウイニングイレブン

- (2) アジア e スポーツツーリズム 2019 in OKINAWA
グランツーリスモレース大会 with あしびなー
【実施タイトル】
Gran Turismo、ぶよぶよ、ウイニングイレブン、荒野行動

- (3) アジア e スポーツツーリズム 2019 in OKINAWA with 宮古島 JTA ドーム
【実施タイトル】
Gran Turismo、ぶよぶよ、ウイニングイレブン、荒野行動

・集客人数

	県内	県外（国内）	県外（海外）	付帯参加	合計
目標（提案時）	4,800	600	75	1,000	6,475
実績	7,545	3,855	695	4,200	16,295
名護大会	800	790	330	1,000	2,920
豊見城大会	6,580	2,975	360	3,000	12,915
宮古大会	165	90	5	200	460

・集客人数増減理由

ツール・ド沖縄での目標集客人数に対して大幅な増加数に対しての要因として、ツール・ド・おきなわ業界の間での zwift の認知度が予想より大きかった点と zwift 社と沖縄輪業社の協力もあり、周知が多くの方々に PR できた点が反映された結果となりました。

また、プロの zwift プレイヤー、ぶよぶよプレイヤー、ウイニングイレブンプレイヤーの協力もあり、sns 上での拡散力が高く非常に効果的にできた事が大幅な増加に繋がった結果となりました。

あしびなーで目標集客人数に対して大幅な増加数に対しての要因として、各タイトルの人気度が高い点とあしびなーや豊見城市の協力もあり、周知が多くの方々に PR できた点が反映された結果となりました。

また、プロの荒野行動プレイヤー、Gran Turismo プレイヤー、ぶよぶよプレイヤー、ウイニングイレブンプレイヤーの協力もあり、sns 上での拡散力が高く非常に効果的にできた事が大幅な増加に繋がった結果となりました。

宮古島での目標集客人数に対して大幅な増加数に対しての要因として、各タイトルの人気度が高い点と認知度が予想より大きかった点と宮古島市の積極的な協力もあり、多くの方々に PR できた点が反映されてた結果となりました。

また、プロの荒野行動プレイヤー、グランツーリスモプレイヤー、ぷよぷよプレイヤー、ウイニングイレブンプレイヤーの協力もあり、sns 上での拡散力が高く非常に効果的にできた事が大幅な増加に繋がった結果となりました。

■ 実施報告

1.名護大会

イベント名：アジア e スポーツリズム 2019 in OKINAWA
ZWIFT レース with ツール・ド・おきなわ

・zwift

体験者数約 880 人
(県内約 300 人、県外約 370 人、海外約 190 人)

・ぷよぷよ

体験者数約 200 人
(県内約 60 人、県外約 100 人、海外約 40 人)

・Gran Turismo

体験者約 560 人
(県内約 280 人、県外約 220 人、海外約 60 人)

・ウイニングイレブン

体験者数約 300 人
(県内約 160 人、県外約 100 人、海外約 40 人)

2.豊見城大会

イベント名：アジア e スポーツリズム 2019 in OKINAWA
Gran Turismo レース大会 with あしびなー

・Gran Turismo

体験走行会参加者 4800 人
(県内約 2800 人、県外約 1900 人、海外約 100 人)

・ウイニングイレブン

大会参加者数 24 人

(県内 24 人)

体験者数 830 人

(県内約 490 人、県外約 300 人、海外約 40 人)

・ぷよぷよ

大会参加者数 24 人

(県内 21 人、県外 3 人)

体験者数 780 人

(県内約 640 人、県外約 120 人、海外約 20 人)

・荒野行動

世界大会参加者数

100 人

(県内 5 人、県外 55 人、海外 40 人)

来場観戦者数約 3400 人

(県内約 2600 人、県外約 600 人、海外約 200 人)

国内ネット視聴者数 2 万人

日間で中国ネット視聴者数 84 万人

他国は不明

docomo ブース 約 2000 人

3.宮古島大会

イベント名：アジア e スポーツリズム 2019 in OKINAWA

with 宮古島 JTA ドーム

・Gran Turismo

来場者体験者数約 40 人

(県内約 40 人)

・ウイニングイレブン

来場体験者数約 40 人

(県内約 40 人)

・ぷよぷよ

来場体験者数約 30 人
(県内約 30 人)

・荒野行動

参加者数 200 人

(県内 15 人、県外 80 人、海外 5 人)

来場観戦者数約 50 人

(県内 40 人、県外 10 人)

国内ネット視聴者数約 2000 人

中国ネット視聴者数約 38 万人

他国は不明



名護大会①



名護大会②



名護大会③



豊見城大会①



豊見城大会②



豊見城大会③



宮古大会①



宮古大会②



宮古大会③

■ 事業実施結果

ツール・ド沖縄での次回のイベント開催をおおの方々から要望され、このようなイベントもあるなら家族で参加しやすいのでは是非継続して欲しいと多くの声も多く頂いたので、1人の参加者に対してプラスαのインバウンドを沖縄県内に呼べるきっかけになると確信したイベントとなりました。

予想以上に海外の方たちにも楽しんでもらい、zwoift 内で沖縄のコースを走りたいとの声も多かったので、zwoift 社との沖縄のコース作りを次年度は取り組み多くの方に沖縄を知ってもらいきてもらえる仕組みが作れるきっかけになった結果となりました。

あしびなーにおいても多くの県外、海外からのオフラインでの参加、オンラインでの参加がありアジア大会、世界大会も開催する事ができてネット視聴者数予想を遥かに上回る数字になりました。継続した大会を多くにプレイヤーや観戦者から要望されている点と全ての選手を目に前で観たいとの声も多いので沖縄への観戦パッケージを旅行会社の協力を得て実施する必要がある点が確信できたのはかなり大きな成果でした。次年度は観戦パッケージを組んで多くのインバウンドに繋がる動きがとれるため、早くからの準備実施致します。

宮古島のドームを使ったイベントに対して多くのプレイヤーから、参加したい、観戦したい要望が寄せられ宮古島でも観戦パッケージ等でのインバウンドに繋がる確信をえたイベントになりました。

■ 事業総括（課題と今後の展望）

多くのプレイヤー、観戦者がパッケージを望んでおり、沖縄に来たがっている中、大手旅行会社やホテル業界、航空会社との連携がうまくいけば多くのインバウンドに繋がるので実施する必要があります。

他県では e スポーツ専用ホテルもできてきているので、県内にも e スポーツ専用ホテルもしくは部屋、e スポーツ施設やインフラの整備は必要でそれが整備されれば、多くのプロチームや選手が合宿にも来ているので、さらなる受け入れに繋がるので沖縄県の経済に寄与できるよう取り組みを続けていきます。

予算さえあれば、zwoift の沖縄のコースも作ってもらえるので海外 600 万人のツールドファンに沖縄の魅力を伝えてきてもらうきっかけを作れるので取り組み、インバウンドの増加に繋げる動きを継続的に行います。

施設の整備、インフラの整備、パッケージの整備等の沖縄県内の足りていない部分の早急な受け入れ態勢の準備と効果的な SNS 等を使った PR によって大きな今後の沖縄県の新しい産業構造になると確信したので、さらに多くの参加者、観戦者が県外海外から沖縄に訪問してもらえるよう仕掛け作りを準備する必要があります。

今回、アジア大会並びに世界大会も開催する事ができ、予想以上のネット視聴者数の獲得と沖縄に実際に行きたいと言う声のもと、継続したアジア大会の実施、世界大会の実施、沖縄に行きたいと思えるような zwoift のコースに沖縄のコースを作ってもらおう等進めて行きます。

県外、海外に向けて PR したい企業等にとっては大きなチャンスにもなるので、代理店やイベント屋と取り組みながらスポンサー集めも今後の大きな取り組み課題として積極的に行っていく必要があります。

もちろん県や市区町村の協力も必要なので、沖縄県全体としての e スポーツに関連したインバウンドの方々の受け入れ態勢を協議しながら進めなければ、受け入れ態勢が間に合わなくなる可能性もあります。今回の事業で、e スポーツで沖縄への貢献、経済効果共に将来性の高い結果を出すことができました。また、必要は課題も明確になりましたので、改善して事業を進めて参ります。

平成31年度スポーツツーリズム戦略推進事業（スポーツイベント支援委員会運営業務）

SEA TO SUMMIT 沖縄やんばる

実施報告書（概要版）

令和2年2月28日

SEA TO SUMMIT 沖縄やんばるコンソーシアム

■事業実施概要

【実施目的】

沖縄県では、繁忙期と閑散期の格差縮小・雇用創出、新たな専門性を持つ観光産業人材の創出及びスポーツが持つ周期性による集客効果・経済効果の実現等、沖縄観光の推進に寄与するスポーツツーリズムの定着化に向けた取り組みを行われている。

また、スポーツ庁でもアウトドアスポーツの中でも世界に誇る日本の自然資源を活用した「アウトドアスポーツツーリズム（するスポーツ）」を重点テーマとして位置づけられている。

こうした中、世界に誇れる自然を有するやんばる地域をフィールドとし、「アウトドアスポーツツーリズム（するスポーツ）」を推進することにより、観光客の周遊促進や、季節の平準化、自然や地域の文化と触れ合い地産地消の実現、地域と融合した観光で観光客と地域の良好な関係を創出し、持続可能な観光コンテンツを目指す。

【実施内容】

主催

沖縄やんばる SEA TO SUMMIT 実行委員会

（事務局：SEA TO SUMMIT 沖縄やんばるコンソーシアム）

■後援

環境省沖縄奄美自然環境事務所、ジャパンエコトラック推進協議会、名護市、本部町、今帰仁村

■実施日程

2019年12月14日（土）・15日（日）

1日目：12月14日（土）12：00～17：00

2日目：12月15日（日）05：30～17：00

■実施内容

1. SEA TO SUMMIT 沖縄・やんばるの実施

カヤック・自転車・登山の3種のアクティビティを行うアウトドアスポーツと自然環境をテーマにしたシンポジウムを組み合わせ、心と体で自然の尊さを感じてもらうことを目的にした「環境スポーツイベント」として実施した。

(1) 実施概要

イベント名	SEA TO SUMMIT 沖縄・やんばる
主催	沖縄やんばる SEA TO SUMMIT 実行委員会
後援	環境省沖縄奄美自然環境事務所、ジャパンエコトラック推進協議会 名護市、本部町、今帰仁村
特別協賛	(株) モンベル、マツダ (株)、JTA 日本トランスオーシャン航空 (株) 医療法人タピック
協賛	教えて! 「かくれ脱水」委員会、日本ゴア (株)、大山ハム (株)、ナイトアイズ 日本航空 (株)、Be Protected Everyday、(株) ビクセン、プロトレック (株) むそう商事、アリスト販売 (株)、(株) ヤマップ、ヘリノックス、クピルカ、パーセプション、ライオット、(株) 国建、(株) 名護パイン園、 (株) 南都 田空の駅ハーソー公園、沖縄ハム総合食品 (株) (株) ゆがふホールディングス
期間	2019年12月14日(土)・15日(日) 2日間
会場	◇12月14日(土) 名護市羽地支所 (大会受付・開会式・環境シンポジウム) ◇12月15日(日) 屋我地ビーチ (スタート) 名護市羽地支所 (ゴール・抽選会・閉会式) ※コース：名護市⇒今帰仁村⇒本部町⇒名護市

カテゴリー	<p>[シングルの部] カヤック・自転車・登山、すべてのステージを一人で参加するスタイル。</p> <p>[チームの部] スタートからフィニッシュまでを2～5名のチームで参加するスタイル</p> <p>[パラチャレンジの部] 障がいのある方や、体力に自信のない高齢者の方も、自身の能力に応じて、希望のステージのみで参加</p>
参加費	<ul style="list-style-type: none"> ● シングルの部：11,550円（税込） ● チームの部：11,550円（税込）×人数 ● パラチャレンジの部：6,050円（税込）×人数 <p>※学割割引：6,050円（税込）×人数 ※参加費には「環境保全協力金¥500」を含む</p>
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ シングルの部：高校生以上 チームの部：中学生以上 ・ 健康な方で、参加者全員分のカヤック装備（パドル・ライフジャケットの装着を含む／SUPの場合リーシュコード必須）、自転車装備（ヘルメットを含む）、水分補給のための給水用装備（ハイドレーション・システムなど）を用意できる方 ・ 大会事務局より大会参加承認を受けた方 <p>※病弱、心臓に障害のある方は参加不可 ※高校生以下の参加には保護者の同意が必要</p>
時間制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12:00までにハイクスタート ・ 14:00までに多野岳頂上に到着すること
表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別賞 すべての参加者を対象とした抽選会を開催 ・ 完走賞 制限時刻以内に完走したシングル、チームに完走証明書を贈呈

(2) 開会式・環境シンポジウム

① 開会式 14:00～14:15

- ・主催者あいさつ 祖慶 良太氏（沖縄やんばる SEA TO SUMMIT 実行委員会 委員長）
- ・あいさつ 辰野 勇 氏（SEA TO SUMMIT 連絡協議会理事長）
- ・歓迎のあいさつ 金城 秀郎 氏（名護市副市長）

② トークセッション 14:15～15:35

テーマⅠ 沖縄北部の自然と SEA TO SUMMIT の魅力

<パネリスト>

- ・山下 晃和 氏 （モデル、NASM スポーツトレーナー）
- ・中村 智 氏 （なぐまさあーの会事務局長、カヤック・地域ガイド）

テーマⅡ アウトドアスポーツを通じたバリアフリー社会の実現

<パネリスト>

- ・野島 弘 氏 （日本チェアスキー協会理事、日本障害者ゴルフ協会理事）
- ・辰野 勇 氏 （SEA TO SUMMIT 連絡協議会理事長、モンベルグループ代表）

※コーディネーター：金城 弘毅（株）OTS サービス経営研究所

③ 大会説明 15:40～15:55

④ ウェルカムパーティー

(3) SEA TO SUMMIT 沖縄・やんばる

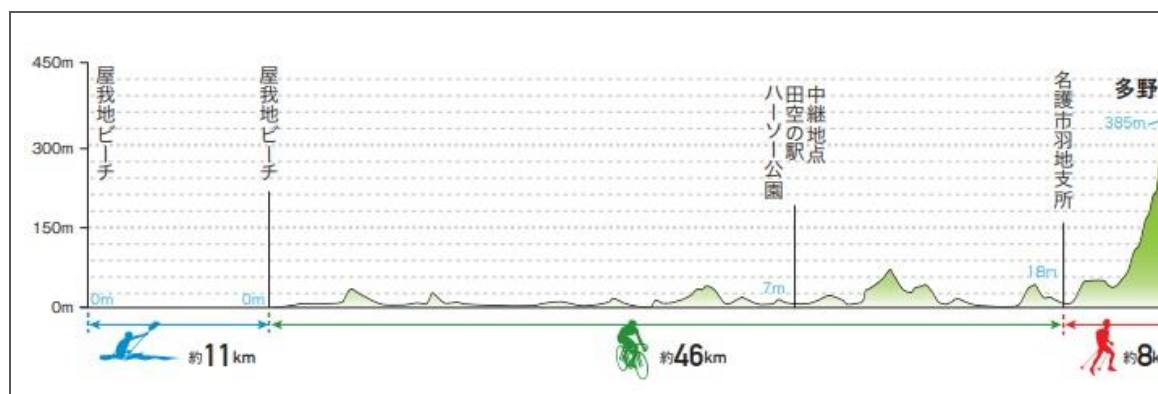
■コース全体図

①海のステージ（カヤック）⇒②里のステージ（自転車）⇒③山のステージ（ハイク）



屋我地ビーチ（スタート）→ 古宇利大橋（荒波時はヤガンナ島）→ 屋我地ビーチ（パドルスポーツフィニッシュ・バイクスタート）→ 田空の里 ハーソー公園（中継地点）→ 名護市羽地支所（バイクフィニッシュ・ハイクスタート）→ 多野岳（フィニッシュ）
 総距離約 65km

■高低図



■タイムスケジュール

◇12月14日(土)

時 間		内 容	会 場	
10 : 00	~	13 : 00	カヤック・自転車搬入	屋我地ビーチ
12 : 00	~	13 : 30	大会受付	名護市羽地支所
14 : 00	~	14 : 10	開会式	
14 : 15	~	15 : 35	環境シンポジウム	
15 : 40	~	15 : 55	大会説明	
16 : 00	~	17 : 00	ウェルカムパーティー	

◇12月15日(日)

時 間		内 容	会 場	
05 : 30	~	06 : 30	カヤック・自転車搬入	屋我地ビーチ
06 : 30			参加者集合	屋我地ビーチ
06 : 40	~	07 : 00	スタート式・スタート	
07 : 00	~	15 : 00	イベント本番	
15 : 00	~	16 : 30	表彰式(抽選会)、閉会式	名護市羽地支所
16 : 30			終了	

① 海のステージ（カヤック）コース

屋我地ビーチ ⇒ 古宇利大橋 ⇒ 屋我地ビーチ（距離：11km）



② 里のステージ（自転車）コース

屋我地ビーチ ⇒ 田空の駅ハーソー公園 ⇒ 名護市羽地支所（距離：46km）



③ 山のステージ（ハイク）コース

名護市羽地支所 ⇒ 多野岳頂上（大会フィニッシュ地点）（距離：8km）



④ 参加者属性

総参加者	40 組 (62 名)
県外・県内	県内：12 名、県外：50 名
年 齢	平均年齢：43.9 歳（最小年齢：21 歳／最高年齢：72 歳）
性 別	男性：46 名 女性：16 名

< 組数 >

区分	組	人数
シングル	25 組	25 名
2 名チーム	11 組	22 名
3 名チーム	2 組	6 名
4 名チーム	1 組	4 名
5 名チーム	1 組	5 名
合計	40 組	62 名

< 県外参加者数（都道府県別） >

北海道 3 名 / 宮城県 2 名 / 山形県 1 名
 埼玉県 2 名 / 千葉県 1 名 / 東京都 11 名
 神奈川県 3 名 / 石川県 1 名 / 長野県 2 名
 静岡県 2 名 / 愛知県 1 名 / 京都府 1 名
 大阪府 8 名 / 兵庫県 1 名 / 奈良県 3 名 /
 鳥取県 2 名 / 島根県 1 名 / 広島県 1 名 /
 山口県 2 名 / 長崎県 2 名